

令和7年度第1回江別市消防委員会 会議結果

開催日時 令和7年8月29日（金）14時00分から14時50分まで

開催場所 江別市野幌代々木町80番地の8 江別市消防本部庁舎3階多目的ホール

参集委員 大島まりな委員、春日学委員、玉腰武委員、丸山博幸委員、河村純子委員、
土屋健委員、本田広樹委員（計7名）

説明員 鈴木消防長、谷口次長、檜森署長、森田警防課長、濱崎警防課参事、
村上予防課長、佐野管理課長、高橋消防2課長、北川江別出張所長、
吉泉大麻出張所長、野村総務課主幹

傍聴者 なし

会議要旨（以下のとおり）

【開会】

- ・委員会の成立報告
- ・各委員から挨拶
- ・説明員を紹介

【委員長及び副委員長の互選】

- ・互選の結果：委員長・本田広樹委員、副委員長・春日学委員

【委員長挨拶】

- ・委員長及び副委員長から就任挨拶

（事務連絡）

- ・議事の公開について
- ・傍聴希望者報告（0人）

【議事】

報告事項（1）江別市議会関連の報告について ア 財産の取得について

警防課長 令和7年江別市議会第2回定例会にて承認を得た、財産の取得について報告します。

- ・水槽付消防ポンプ自動車（老朽化に伴う更新）
 - ・消防ポンプ自動車（老朽化に伴う更新）
 - ・はしご付消防自動車重整備取替キット（オーバーホール用に取得）
- 以上3点の取得価格、契約先及び契約日について報告

本田委員長 はしご車の整備用取替キットの取替えは、消防士が実施するのですか。
それとも、購入後に取替作業を発注するのですか。

警防課長 取替キットは、点検、交換を含めて北海道モリタが行います。

本田委員長 取替キットを購入し、取替作業もお願いする契約ということによろしいですか。

警防課長 そのとおりです。

玉腰委員 北海道市町村備荒資金組合の名を聞いたことがないので、どんな組合なのか、簡単に説明してください。

警防課長 備荒資金組合は、市町村が災害防止、災害復旧等で住民生活の安定及び福祉の向上のために必要とする防災資機材を立て替えて購入し、低利息で譲渡してくれるものです。

今回は、この組合が、先ほど説明した（はしご車重整備）取替キットを用意して市に譲渡され、市の防災の方に役立てるという流れで、協力していただいています。

大島委員 物価高で自動車も高くなっていると思いますが、消防車はこれまでこのぐらいの金額なのか教えてください。

警防課長 消防車の取得価格の動向ですが、消防車、救急車、はしご車など、いろいろと消防車のタイプがあり、そのタイプによって値段は大きく異なります。

今回取得する水槽付消防自動車は、皆さんから見て一般的な消防車になりますが、物価上昇の影響により、だいたい平均で15パーセント近く値段が上がってる状況です。

報告事項（2）マイナ救急実証事業について

警防課参事 国が進める「マイナ救急実証事業」を令和7年10月1日から今年度末まで実施する。マイナ救急は、マイナンバーカードに健康保険証利用登録した「マイナ保険証」を活用し救急活動の円滑化が期待できる。

- ・実施方法（119番通報受理時～搬送先医療機関選定）
- ・期待される効果（医療情報の把握・適切な応急措置・医療機関の事前準備）
- ・当事業での費用は生じない
- ・市民周知の実施。

春日副委員長 マイナ保険証で、様々な服薬や病歴等々が見れるということで非常に有用と思うが、マイナンバーのパスワードを聞き出せない状況時、特別な機材で読み取ることはできますか。

警防課参事 国から提供されるタブレット端末1台にカードリーダーを接続し、マイナンバーカード（マイナ保険証）を読み取るので、同意があれば本人から暗証番号を聞くことはありません。

春日副委員長 それは安心です。現実的に傷病時に顔認証等がないと利用できない危惧があったので、質問しました。

本田委員長 この事業によって、救急隊の対応は格段に上がるということですか。

以前、救急車を利用した時に救急の問診が多く、持病があったので、早く乗せて欲しいと感じたのですが、その時間が短縮されると想定してよろし

いですか。

警防課参事

今までは、本人もしくは家族からの聞き取りに時間を要する場面があり、早く病院に連れて行って欲しくないかと心配をされたと思います。

この事業は令和4年から一部の市町村で始まっており、その検証の中で受診歴を確認できない方がおり、その内容を確認できることで時間の短縮が見込まれています。

河村委員

今、改めてマイナンバーカードの管理や、家族の保管場所を知らない、いざという時に家族のマイナンバーカードがどこにあるか困るので、日常から把握したい。

病院選びの時間短縮にもなるとは思いますがいかがですか。

警防課参事

実証事業の検証の中で、病院選定時間が短縮になるかは出てないが、早期に受診した病院がわかりますので、その病院に的確に連絡でき、搬送先に早く行くことができると考えます。

報告事項（3）消防指令業務の共同運用について

総務課主幹

既に「消防指令業務の共同運用」について報告しているが、新任の委員もいるので経緯を含め説明します。

・これまで119番通報は各消防本部で受信し消防車や救急車に出動指令していたが、札幌消防局内に「札幌圏消防指令センター」を設置し、市民サービスの向上や行財政の効率化を図ります。

・市内の119番通報は、9月16日以降「札幌圏消防指令センター」で受信します。

（これまでの経過）

・札幌圏6消防本部で、平成27年度から平成29年度の3年間調査研究を実施し以下を決定

①運用開始は、令和7年度中

②設置場所は、札幌消防局

③配置人員と管理運営要員は計49人

④運営方式は、札幌市への事務委託方式

・平成31年3月に基本協定を締結

・令和7年3月に札幌市と規約締結（令和6年度第2回消防委員会報告）

（消防指令業務の共同運用の効果）

①情報の一元化による迅速な相互応援態勢の確立と災害対応能力の向上

②施設整備費の削減

③指令業務職員を現場活動へ配置

・通報時、住所は「江別市」から初めて欲しい

・映像通報システムの運用開始

・市民周知の方法について

土屋委員 消防指令業務の共同運用と効果について、迅速な相互応援体制が確立できるとい記載があります。想定するに、大規模災害等なのかと思うが、例えば大麻と厚別の市境、住居や集合住宅が連続する地区における日頃の救急状況とか消防の応援体制というものは現状どうなっていて、何か課題があるのか。将来的にはどのような考えがあるかお尋ねしたい。

総務課主幹 これから共同運用する札幌圏消防指令センターは、市町村消防の原則を堅持しつつ、札幌圏の消防通信指令に必要な業務を一元的に行うもので、大規模災害などそれぞれの消防本部の消防力を超えた災害が発生した場合の応援要請については、これまでは災害の状況や対応経過についての説明を行ってから出動していたが、これからは一元管理となるので、要請に対し速やかな出動につながることから、応援態勢の確立と記載しました。

行政区域の枠にとらわれずに応援出動や連携協力を推進するためには、消防の広域化を進める必要があると考えます。

札幌圏消防指令センターの共同運用は、消防広域化に向けて今後も消防用車両等の共同整備や訓練の定期的な共同実施などを検討し、消防や救急の確実、迅速な対応につなげていきたいと考えています。

土屋委員 再度、将来的なお考えを聞きたい。

消防長 将来的な展望についてですが、土屋委員からの質問では大麻地区を例に、市街地が連続しているところでの応援というよりは、近い場所からすぐ来るようなサービスにはならないのかという趣旨の質問と考えます。

原則的には、今回は指令業務の共同化ということで、災害対応には各市町村が対応、その市町村で対応が困難な時には応援という手続きになります。

その手続きを迅速化するということが今回の指令共同化で、これで連携強化が終わったわけではありませんので、土屋委員から質問があったことが実現可能かどうかも含めて、今後さらなる連携強化のあり方とか、柔軟な応援体制の必要性について、構成団体の中で協議したいと思っています。

春日副委員長 札幌圏の消防指令センターに119番通報が集中すると、119番通報が混雑して繋がらない事態は考えられませんか。

総務課主幹 札幌圏消防指令センターでは、年間の各市の119番通報の合計件数を勘案して、18万件以上の119番通報に対応できる回線数を確保しておりますので心配ないと思います。

ただ、地震などの大規模災害が発生した時には119番通報がパンクするような事態が考えられます。その場合は、各消防本部に部隊の運用を委ねる方式を取ります。その時にはデータ指令という指令書だけが、各本部に指令され、その指令書を基に各本部が優先順位をつけて部隊を運用しますので、安心してください。

春日副委員長 通常は、年間18万件の通報に対応できる回線数があるので問題ない。

大規模災害時にはデータだけが送られ、所轄の消防本部で臨機応変に対

応するイメージでよろしいですか。

総務課主幹
本田委員長

そのとおりです。

SNSの書き込みの中で、今まで連絡すると市町村名を言わなくて良かったが、何で今度わざわざ、江別なら江別市どこどこと言わなきゃならないと、意地悪な書き込みがあったが、消防本部にその様な問合せがありましたか。

総務課主幹

そのような問い合わせは聞いたことがありません。

ただし、一般加入電話（固定電話）から119番通報がされた場合は、N T Tなどの登録情報が指令台に表示され、指令員はどこからの通報か大体わかるが、念のため住所を江別市から教えてくださいと、確認の意味でお聞きします。

また、携帯電話からの通報も位置情報の精度が高くなっているので、ある程度の位置が絞られ、その半径100メートル圏内での電話通報ということを確認しながら、通報者に住所を確認しています。

本田委員長

その辺もお知らせした上で、江別市とってくださいって言った方が親切なのかもしれないですね。

総務課主幹

N T Tなどの登録情報が100パーセント合っているとは限らないので、確実に現場に向かうため、確認の意味で聞いています。

報告事項（4）今後の消防関係年間行事予定について

次長

今年9月から来年3月までの主な行事予定

- ・9月は6日に消防フェスティバルと21日に防火ふれあい大麻を開催
25日は消防関係物故者慰霊祭
- ・10月15日～31日秋の全道火災予防運動期間
- ・12月は、1日歳末特別警戒出陣式（消防団）
20日～31日歳末特別
- ・1月6日令和8年消防出初め式
- ・2月中旬以降に第2回消防委員会を予定
質疑なし

【その他】

事務局

第2回委員会の開催は、来年の2月中旬以降に予定しており、開催前に案内を送付するので、出席をお願いします。

丸山委員

消防団では、防火活動の中で住宅等を訪問する活動があります。

現在では、個人のプライバシー問題があり、呼び鈴を鳴らしても、防衛的な風潮で、なかなか玄関を開けてくれない。ただ、独居の方の安否確認や防火の協力の対策として、消防団活動の一環として活動していることを広報しており、住民の方々にも協力を願いたい。

地域の安全・安心は、情報の共有が大事ですので、消防の力も借りて進め

たい。

最近では、詐欺事件が多く非常に難しい時代になっており個人主義がすごく進んでいる。消防団としては、やはり信頼関係が構築できるまちづくりではないですが、地域は地域の人全体で守らないと安全安心につながらないので、地域の皆さんの協力を得ながら安心安全なまちづくりを進めたいと考えていますので、みなさんの協力をよろしくお願いします。

【閉会】